

支 出 書

会 派 名	誠友会	整理No.	1-01
科 目 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 2 研修費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広報費 6 広聴費 7 要請・陳情活動費 8 会議費 9 人件費 10 事務所費		
金 額	4,284 円		
支出年月日	令和5年 4月 21日		
支 出 内 容	令和5年4月18日 ICTパーク(北海道旭川市)視察利用料 $30,000\text{円} \times 1/7\text{人} = 4,286\text{円} \times 6\text{人} = 25,716\text{円}$ $30,000\text{円} - 25,716\text{円} = 4,284\text{円}$ (1人分負担・端数調整)		
支 出 先	別添の通り		

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) <input type="checkbox"/> 領収書を添付することができないため、上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名
-----------------	--

別紙

領収書添付用紙

支出書整理No. 1-01

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

No. _____
発行日 2023/4/18

福山市議会

様

金額 ￥30000 一

但し 4/18 ICTパーク視察利用料として

上記正に領収いたしました。

内訳

税別金額

消費税額

一般社団法人大雪カムイミンタラDMO

T 070-0033

旭川市3条通7丁目418

オクノ6F

TEL: 0166-73-6968

支 出 書

会派名	誠友会	整理No.	1-02
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 2 研修費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広報費 6 広聴費 7 要請・陳情活動費 8 会議費 9 人件費 10 事務所費		
金額	98,140 円		
支出年月日	令和5年5月 2日		
支出内容	令和5年4月18日～20日 北海道旭川市、北見市 視察研修に係る出張旅費		
支出先	別添領収書の通り		

領 収 書 (該当○印)	有 (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

別紙

領収書添付用紙

支出書整理No. 1-02

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 誠友会

2023年5月2日

(代表者) 稲葉誠一郎 様

¥98,140

但、4月18日～20日北海道旭
川市、北見市への出張旅費

[内訳]

上記正に領収いたしました

	金額	摘要
交通費	59,240円	
日 当	9,300円	3.0日
宿泊料	29,600円	2泊
()	円	

(会派名) 誠友会

(名前) 能宗正洋



研究研修・調査報告書

会派名	誠友会	報告日	令和5年5月2日
代表者	稻葉誠一郎 	報告者	能宗正洋 
参加者	能宗正洋		
実施日	令和5年4月18日(火)～20日(木)		
研究研修・調査等の場所	北海道 旭川市 ICT パーク 北見市 北見市役所		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・旭川市 ICT パークについて ・北見市 「書かない窓口」について 		

◇日時 4月18日(火) 13:40～15:20

◇場所 旭川市 ICT パーク

4月19日(水) 13:20～15:20

北見市役所

◇内容、まとめ

- ・4月18日(火) 13:40～15:20
- ・旭川市 ICT パークについて
- ・案内者・説明者 旭川市議会 議会事務局次長・
ICT パーク担当者他 2 名

旭川市は、北海道のほぼ中央部、上川盆地の中心に位置し、道内第2の都市。面積は約 748 km²、人口 33万人超の街です。雪深いが、旭川空港は雪に強く就航率99%超である。

今回は、eスポーツ施設「ICT パーク」を訪ねました。

eスポーツは、electronic sports の略で、電子機器を用いて行う娯楽・競技・スポーツ全般を指す言葉です。ゲーム・ビデオゲームを使った世界とつながるスポーツ競技で、世界の eスポーツ競技人口は 1億 3,000 万人以上と言われている。

ICT パークは、まちなかの賑わいや ICT に関する高い人材育成を目的に令和 3 年 2 月にオープンしている。

歴史ある旭川国際劇場:コクゲキをベースに、約 5,000 万円かけてリノベし、プログラミング教室や VR 映像体験などの複合的な目的に対応した ICT 施設で、最新の通信技術「ローカル 5G」を利用した高速通信の活用、実証の拠点となっている。

施設の管理運営は、一般社団法人「大雪カムイミンタラ DMO」が行っている。

施設内は、1F がスポーツの楽しさを仲間と共有しあえるトレーニングジムとして e スポーツカフェのようなゲーミング PC を備えた施設となっています。

このトレーニングジムでは、プログラミング教室もされています。

メインは 3F のコクゲキという 180 名がゆったり収容可能な e スポーツスタジアムで、約 5m × 3m の大型 LED ビジョンや高性能ゲーミング PC10 台を備えている。最大 5 対 5 のスポーツバトルが可能であり、道北の e スポーツの拠点として、また世界大会への登竜門として展開していくとしている。

この施設は、高校生以下無料で、いわゆる子ども(学生・児童)の居場所的な場所として活用されている。が、運営費用は年間 4,000 万円程度かかります。収入面では、各種イベントを企画して年間 1,000 万円が最大とのこと。よって毎年市から 3,000 万円助成頂いているのが実態とのこと。(2~3 年後が心配になりました。)

◇まとめ

デジタル技術の進展に伴い、e スポーツ人口は確実に増えており、選手(人材)の育成や ICT に強い人材の育成として期待はできる。しかし、e スポーツの主力は中・高校生で有り、施設の稼働率や安定した使用料収入等など継続性を含め課題があると感じた。

仮に、本市の(仮称)子ども未来館の一角に e スポーツ導入の場合や中・高校生の居場所づくりとしては、今後注視していく必要があると思える。また、使用料金をどうするか等など費用対効果をしっかりと見極める必要ありと感じました。

・4月 19 日(水) 13:20~15:20

・北見市「書かない窓口」について

・対応者 北見市議会飯田議長(歓迎挨拶)、議会事務局数名、
窓口課参事(説明者)、他 2 名

北見市は、北海道の東部に位置し、オホーツク圏で最も人口が多い都市。2006 年に旧北見市と 3 町が合併し、現在 人口 11.5 万人、面積約 1,427 km²(福山市の約 2.8 倍)で、日本最大規模の通年型カーリングホールを擁し、カーリングのまちとして PR している。

北見市の新庁舎は令和 3 年 1 月オープンし、業務開始している。

北見市の書かないワンストップ窓口は、平成 24 年に新人職員が市役所を利用してみるという利用者目線での業務改善からスタートした。

市役所の窓口は、案内表示のカラー化をして、各担当課等の表示は無い。さらに、申告書類の統合、手続きチェックシートの導入などを経て、平成 27 年から 28 年にフロント業務を担うシステムを独自開発して、1 つの窓口で対面での本人確認後「手続き案内書」により手続きを入力するため、他の窓口に行かないで、また、自分で書かないで手続きが完了する。いわゆる「書かない・回さない・漏れがない」ワンストップ窓口を実現している。

具体は、窓口で受け付ける申請書に内容を聞き取りでプレ印字(書かない)し、内容は RPA による自動処理を経て証明書類の出力や住民基本台帳システムの入力処理がなされている。また、ライフイベントに伴う手続きはシステムが自動判定処理し、来庁者が窓口を回る回数を削減すると共に業務の効率化を実現している。(回さない・・関連手続きの自動判定)

特に参考になる点は「窓口課」が有ることです。

「窓口課」は、他部課から業務の委任を受け・手続きの代行受付・手続きの案内を行っている。

主な業務は、 業務課 窓口係・・窓口業務

管理係・・システムの管理

両係・・ワンストップの調整 となっている。

また、業務の委任を受ける際には、

- ・受け付ける手続きの範囲
- ・手続きを受けるために必要な情報の参照権限
- ・手続き案内書に載せる案内文の提出
- ・手続きを抽出する判定式の提出
- ・ガイダンスの提出
- ・責任の所在

など、委任する側と受注する側でしっかりと整理している。

◇まとめ

北見市の窓口の業務改善については、窓口 DX のシステム導入が目的ではなくバックヤード業務迄のトータルで業務改革を考え、あくまでも市民(「お客様」・・説明や対応時にことごとくお客様の言葉が出る)目線での DX 実現を目指していることが理解できた。本市が本庁舎・各拠点支所で今年 3 月 6 日からスタートした「書かない窓口システム」や「行かない」「待たない」システム拡大時の取組みに大きなヒントを与えてくれるものであり、今回の学びを整理して、今後提言して参ります。

以上